

松江赤十字病院 『患者さまの権利章典』

「医療は、患者さまと医療提供者とのお互いの信頼関係をもとに協力して作り上げていくものであり、患者さまに主体的に参加していただくことが必要です。」
このような考え方にもとづき、松江赤十字病院は、患者さまの権利や責務についてつぎのとおり表明します。

1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 患者さまには、診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
3. 患者さまには、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて十分理解できるまで質問する権利があります。
4. 患者さまには、医療従事者が提案する治療法に対して自らの意思で決定できる権利があります。
5. 患者さまには、診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。
6. 患者さまには、医療提供者に対し患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
7. 患者さまには、病院の規則を守る責務があります。

くつぎたいは

第22号(2007年9月)松江赤十字病院

病院理念

松江赤十字病院は、地域の中核医療機関として、「高度」「良質」「公正」な医療を提供します。

「体調が悪い、自分がかんではないか?」と思われたこと、みなさんありませんか? そう思っても、病院にかかるには勇気がいりますよね。

勇気を出して診察を受けたら、がんだと言われた。その時のショックは経験した人でないと決して理解することは出来な



いでしょ。

がんが闘病生活を送っている家族を見守る。これも大変なことです。

そんな、がんについての様々な不安や、疑問、ストレスを一人で抱え、思い悩んでいませんか?

「がん相談支援センター」は、がん患者さまやご家族さまが抱える不安や、疑問、ストレスを一人で抱え、思い悩んでいませんか? という悩みを解決するために、

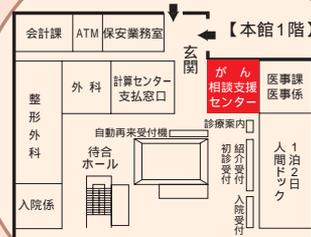
がん相談支援センター開設

医療社会事業部 奥 公明

松江赤十字病院では本年四月に「がん相談支援センター」を開設いたしました。当院はこの地域で、松江市立病院とともに地域がん診療連携拠点病院に指定されています。各診療科をはじめ、緩和ケアチームや最新の検査、診療機器を整備しがん医療に積極的に取り組んでいます。しかし、こうした取り組みの中で、冒頭で触れたような不安な思いや、ショックを抱え思い悩んでいらつしやる患者様やご家族様がおられることも間違いのない事実です。「相談支援センター」はそうした皆様に対しでもお力になれるよう開設されたものです。お話を伺いするのは担当のソーシャルワーカーですが、ご相談の内容によって医師、看護師など専門の職員と連携をとってみなさんの、御不安や、疑問にお答えしていくよう努力してまいります。

利用方法

- 相談日 月曜日～金曜日(休診日をのぞく)
- 時間 8時20分～17時
- 対象 がん患者様、ご家族様、地域の方など当院の患者様、ご家族様に限らず、どなたからのご相談でもお受けします。
- 場所 がん相談支援センター(本館一階医療社会事業部内)
- 相談料 無料
- 電話 0852 32 7022(直通)
0852 24 2111(代表) 内線2904
- FAX 0852 32 6955
- E-mail gan-soudan@matsue.jrc.or.jp



お一人で不安な時間を過ごされるのではなく、些細なことでかまいませんので、ご相談ください。

お電話等でも受け付けております。ご利用方法は左記のとおりです。

直接おいでいただくか、電話、ファックス、Eメールでご相談ください。

事前の申し込みは不要です。

予約については、事前に連絡をいただければ日程を調整させていただきます。

がん相談支援センターは、がんに関するあらゆる相談に取り組んでまいります。

各科紹介

救急部

今回は救急部の紹介をさせていただきます。わが救急部は専任の佐藤真也、原田宏海兼任の北角泰人、佐藤慶一の四

各科の緊密な連携が問われる多発重症外傷、救急隊との迅速な対応が要求される急性冠動脈疾患や



ん。当院の救命救急センターは隠岐を含む島根県東部地域の三次救急に対応するために、平成十六年四月に開設されました。

脳血管障害、広範囲熱傷や急性薬物中毒、切断肢指の再接着などを扱っており、厚生労働省のAランク評価をいただいております。

かつ良好な結果をえられるようにすることが救急部の願いであり、目標であります。その為に、救急部は救命センター

スタッフ・各科の協力のもと院内ICLSやJPTCCコースの開催と指導、JATCCやACLSコースの受講、インストラクターとしての指導を通して研鑽に励んでおります。

来院時心肺停止症例は約七〇件になります。主に隠岐島からのヘリコプターを利用した救急症例の受け入れは、年間四〇例を超えています。こういった多岐にわたる多数の傷病者を、各科との緊密な連携のもと初期診療から専門的治療へとスムーズに移行することにより患者様の適切な

の協力を得ながら、よりよい救急医療を進めて行く所存ですので、よろしくお願いたします。

救急医療のより一層の充実が求められており、その一助として、今年の八月から、土・日・休日の管理日直体制がスタートしました。今後も院内全体の

救急医療の充実が求められており、その一助として、今年の八月から、土・日・休日の管理日直体制がスタートしました。今後も院内全体の協力を得ながら、よりよい救急医療を進めて行く所存ですので、よろしくお願いたします。

救急医療のより一層の充実が求められており、その一助として、今年の八月から、土・日・休日の管理日直体制がスタートしました。今後も院内全体の協力を得ながら、よりよい救急医療を進めて行く所存ですので、よろしくお願いたします。

救急医療のより一層の充実が求められており、その一助として、今年の八月から、土・日・休日の管理日直体制がスタートしました。今後も院内全体の協力を得ながら、よりよい救急医療を進めて行く所存ですので、よろしくお願いたします。

救急医療のより一層の充実が求められており、その一助として、今年の八月から、土・日・休日の管理日直体制がスタートしました。今後も院内全体の協力を得ながら、よりよい救急医療を進めて行く所存ですので、よろしくお願いたします。

救急医療のより一層の充実が求められており、その一助として、今年の八月から、土・日・休日の管理日直体制がスタートしました。今後も院内全体の協力を得ながら、よりよい救急医療を進めて行く所存ですので、よろしくお願いたします。

救急医療のより一層の充実が求められており、その一助として、今年の八月から、土・日・休日の管理日直体制がスタートしました。今後も院内全体の協力を得ながら、よりよい救急医療を進めて行く所存ですので、よろしくお願いたします。

救急医療のより一層の充実が求められており、その一助として、今年の八月から、土・日・休日の管理日直体制がスタートしました。今後も院内全体の協力を得ながら、よりよい救急医療を進めて行く所存ですので、よろしくお願いたします。



5〜9月医師紹介

麻酔科
東 布実子
九月から麻酔科に赴任して参りました。患者様に安心して手術や麻酔を受けて頂けるよう、努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

眼科
庄司 琢郎
いろいろ手術をしてみたいと思い、はるばる山形から高梨先生のもとへやってきました。外来に、また手術・入院患者様の診療に全力を尽くしたいと考えております。どうぞ、宜しくお願いたします。

放射線科
太田 靖利
放射線科の医師として何をしたいのかピンとこないと思われすが、画像診断、放射線治療、血管造影等の業務を行っています。私は主に画像診断を担当しており、CT・MRI・PETなどの画像をもとに診断をつけ、依頼医にレポートしています。

小児科
田中 孝之
初めまして。六年目の小児科医です。こちらへ来る前は西神戸医療センターで二年間働いていました。神戸は便利な一方でやや人工的な感じの街でしたが、松江は日本らしい落ち着きがあって魅力ある街だと感じています。協働性を大切にして働いて行こうと思っています。よろしくお願いたします。

ご案内

『くつろぎサロン』は、がん患者さまとご家族さまの交流の場として、毎週水曜日開催されます。

ことに役立つテーマを設け、専門家からの講義と質疑応答、経験者の方からの情報提供などを行なっています。これまで、『食事と免疫』『がん医療費』『抗がん治療に伴う脱毛のケア』と一緒に学び、参加の皆さんより、「こういうことが知りたかった」と好評を頂いています。また、医療者との交流の場となり、お互いの理解が深まることもあると感じています。

今後も別記のテーマで勉強会を予定しています。くつろぎサロン、サロン学習会とも、参加申込み費用は不要です。がん患者さま、ご家族様、その他関心をお持ちの方どなたでも、ご自由にご参加いただけます。

『くつろぎサロン』での語らいの中での個人情報やサロンの中だけに、というお約束を頂いています。安心してお出かけ下さい。過去の勉強会についても資料や主な内容等お知らせできます。お気軽にお問い合わせて下さい。

『くつろぎサロン』の立ち上げは、『がんを診断されてからの思い・疑問や不安を、同じ思いを持つ患者同士で話し合いたい』『病室のカーテンで区切られた環境でなく、くつろげる、気軽に立ちよれる場所が欲しい』という患者様の思いからでした。毎回十名前後が参加され、茶菓を楽しみながら、病気の事・趣味や日常の出来事の会話をされています。ここでは話しは『自分だけではない』『がんばろう！』と希望が持てた『がん患者同士だと気兼ねがなく、くつろいで話が出来ると』『笑える時間が良い』と、がんを持つても自分らしく前向きに生きるパワーを与えてくれているようです。

本年四月より毎月第四水曜日は、『ミニ勉強会と情報交換の会』の開催を始めました。毎回疑問不安の軽減やより健康に過ごす

がん患者と家族の会

『くつろぎサロン』及び

『くつろぎサロンミニ勉強会と情報交換の会』

緩和ケア認定看護師 川上 和美

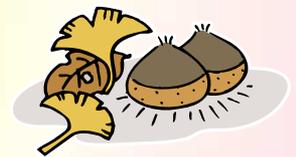
開催のお知らせ

勉強会の日程・テーマ

- | | | | |
|--------|--------------------------------|---------|-------|
| 開催日... | 9月26日(水) 【抗がん剤】 | 薬剤部調剤課長 | 新宮 瑞夫 |
| | 10月24日(水) 【心の健康 心のケア】 | 精神神経科部長 | 室津 和男 |
| | 11月28日(水) 【がんの痛み・治療に伴う痛みを和らげる】 | 麻酔科副部長 | 小川 肇 |
| | 12月26日(水) 【腫瘍マーカーとは】 | 第二外科医師 | 佐藤 仁俊 |

- 時間...14時から30分程度(講演・質疑応答)
 場所...本館一階 人間ドック控え室
 対象者...がん患者様・ご家族様・その他関心のある方
 参加料...無料
 申込み...不用
 問合せ先

消化器外科病棟 看護師 川上
 がん相談支援センター MSW 奥
 がん相談支援センター
 電話(0852)24 2111
 内線2904



☆料理の世界☆

『ダッチオーブンの鍋力』

栄養課 調理師 三島 康裕



ダッチオーブンはアメリカの古きよき時代から広く愛用されてきた鉄鍋の事を言いますが、なぜ『ダッチ』なのか、これは昔アメリカのニューヨークがオランダ(ダッチ)の植民地だった頃オランダ人が売っていた鍋だからという説があります。

さてそのダッチオーブンの鍋力ですが、焼く・蒸す・煮る・炊く・炒める・揚げる・燻すといった全ての料理を案々とこなす実力を持っており、最近では一流ホテル・レストランなどでも幅広く使われています。例えば肉料理。鶏丸焼などは焼けば皮はパリパリ中身はジューシーな極上な丸焼になりますし、魚介料理では高い機密性と蓄熱性によって簡単に魚の燻製もできます。鍋料理では圧力効果が高いためタマネギやキャベツも丸ごとで煮えるのでポトフなんてお手の物、骨付き肉を

煮込む場合にも実離れの良いふっくらした物が完成します。またパンを焼くのはおまかせあれ！のダッチオーブンなので今回はピザを作ってみました。ビールとともに楽しんで下さい。

【作り方】

① ダッチオーブンを四十度くらいにプレヒートしてその中にピザ生地材料を入れてこねます。

ひとかたまりになったら丸めて暖かい濡れ布巾などを掛けて一次発酵させます。

② 生地を取り出して平たく伸ばした生地をダッチオーブンの底のサイズにしたアルミホイル皿かオーブンシートを敷いたところに置き、生地の上にピザソースを塗り、お好みの具材をトッピングし、とろけるチーズをのせて準備完了。

③ プレヒートしたダッチ



ぜひ、ダッチオーブン料理を存分に楽しんでみてください。

チオーブンの中にトッピングした生地を入れて蓋をして蓋の上からと鍋底からの同時過熱(上は強く下は弱めで)十五分くらい焼くとおいしいピザが出来上がります。

【今回使用した材料】

ピザ生地……強力粉、オリーブオイル、ドライイースト、砂糖、塩、ぬるま湯
トッピング……サラミウィンナー、ゆで卵、アスパラ、ブチトマト、とろけるチーズ
市販のピザソース

新病院の進捗状況



基礎撤去



地盤改良、整地



工事状況

(中央管理棟跡地)

新病院建設工事にともしない騒音、振動等ご迷惑をお掛けしております。御理解、御協力をお願いいたします。

